

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報、試料（病理診断の残余検体）を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

胸部悪性腫瘍における上皮間葉転換や癌幹細胞性、免疫チェックポイントを含む癌
悪性化因子の臨床病理学的検討

1. 対象となる患者さん

2010 年 1 月～2025 年 8 月の間に当院で胸部外科手術を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 呼吸器外科 濱路 政嗣

3. 研究の目的と意義

この研究は、カルテ情報を解析し、胸部悪性腫瘍の外科的切除検体における病理学的所見（胸膜浸潤、脈管浸潤、試料を用いた上皮間葉転換、癌幹細胞性、免疫チェックポイント分子に関するタンパク発現）と切除後の予後（術後生存および腫瘍再発、腫瘍に関連する症候）の関連を検討することを目的としています。この研究の成果は、再発予測や周術期治療の効果予測といったものにつながる新たな因子の提案に繋がることが期待されます。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、胸部悪性腫瘍の外科的切除検体における病理学的所見と切除後の予後の関連を統計学的に検討します。

5. 使用する情報・試料

観察項目：診断名、年齢、性別、既往歴、喫煙歴、術前・術後検査データ、腫瘍に関する画像情報、術前病期、術前治療、併存疾患と治療内容、初回手術日、術式、組織型、病理因子、根治度、術後合併症、術後病期、術後補助療法、予後（手術施行日からの生存期間）、初回再発の診断日、死因

試料の評価項目：胸部悪性腫瘍組織におけるタンパク発現

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2035 年 12 月 31 日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 呼吸器外科 宮田 亮

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：rmiyata@naramed-u.ac.jp